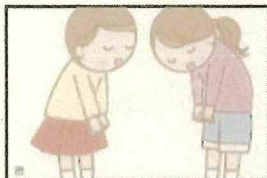


# 佐中だより



『人間を大事に ～自他ともに大切にすることができる～』 2021. 9. 1 (水) No. 18 文責：宮川

## 佐賀中学校一点突破の取組



1学期の一点突破の取組として、「あいさつ」に取り組んできました。その取組として、登下校時に職員室でそれぞれのあいさつを行うことをやってきました。生徒のみなさんは「おはようございます。」「さようなら。」と大きな声であいさつをしたり、「今日も一日よろしくお願ひします。」「今日も一日ありがとうございました。」と言添える生徒もあり、一定の成果があったと思います。ただ、このあいさつは学校の中だけでできるというのではなく、地域でのあいさつが必要です。1学期の防災教育講演会で、釜石の防災教育は地域の方へのあいさつから始まったことを話してもらいました。2学期はコロナ禍の今だからこそ、地域と学校をつなぐあいさつを広げていきましょう。

## 第5回AMDAとの交流会

2017年より毎年、AMDA中学高校生会（以下、AMDA中高生会）黒潮町の中学生・高校生と交流会を行ってきました。今年も新型コロナウイルス感染防止対策として、8月24日（火）オンラインで行いました。AMDA中高生会からの発表に続いて、佐賀中学校、大方中学校、大方高校の実践について発表がありました。佐賀中学校も6名があったか避難訓練や防災ソングの披露など、これまでの取組をどうとうと発表してくれました。今後もこのような他校の方に聴いてもらう発表を積極的に行っていきたいですね。



## 2学期の防災教育について

9月5日（日）黒潮町全体で総合【浜町の避難タワー】防災訓練が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止となりました。ただ、コロナ禍の現状でも、防災については常に考えておく必要があります。「地域の一員として、中学生に何ができるのか。」を考えていきましょう。また、2学期は防災関係の行事もたくさん予定されています。「貫歩大会」や「3年生炊き出し訓練」など、昨年度まで佐賀中単独で実施していた行事を、佐賀小と合同で行うことができるように協議しています。このように小学校と合同で行うとき、大切になってくるのが、相手の立場に立って物事を考えることです。今後はこのように中学生だけでなく、小学校や地域の方と協力して避難することや、被災後の生活などを考えていき、自分たちに何ができるかを探っていきましょう。



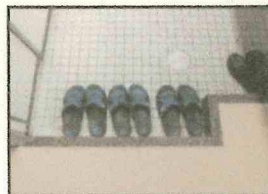
## 運動会で響く「全力校歌」に期待

1学期終業式、音楽主任の山下先生が不在のため、校歌をアカペラで歌いました。子どもたち一人ひとりが一生懸命声を出し合い、校歌を歌うことができていたように思います。そして、2学期も運動会にアカペラで校歌を歌うと聞いています。そのため、2学期始業式もアカペラで歌うことになり、みんなの歌声が響きました。運動会の本番では、全力で歌う校歌を聞けると期待しています。佐賀中グラウンドに「全力校歌」を響かせよう。



## げた箱・教室・トイレの整理整頓

1学期のキャプテン会において、中野先生が話してくれたことを覚えていますか。その中で、部活動で大切にしてきたことの一つとして、「試合会場や、練習会場で荷物の整理整頓をしっかりとできるチームになってください。」ということについて、実践できているでしょうか。この整理整頓ということは日頃から意識しないとできません。くつを抜くげた箱、教室の机回り、ロッカーの中、トイレのスリッパなど外からのお客さんが来ると、必ず見られるところです。学校が落ち着いてるかどうかは、『「げた箱」「トイレのスリッパ」「ロッカー」を見ればわかります。』と言われます。2学期は外からのお客さんがたくさん見られます。一人ひとりが環境整備を意識できる学校にしていきましょう。



## 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

高知県も新型コロナウイルス感染拡大により、8月20日非常事態のステージとなりました。以前と比べ、高齢者層の感染者の割合は減少していますが、10代から30代の感染者が増加しています。現在の全国的に感染者が急増している状況を踏まえると、今後もしばらくの間、若年層の感染割合は今の状況が続くものと思われます。このため、まずは、日頃の感染対策を徹底させていきたいと思ひます。

そのため、運動会の競技や応援、部活動の練習について、できるだけ感染リスクの少ないやり方を、教職員一同で考えていきたいと思ひます。各ご家庭も再度感染対策については、ご協力をよろしくお願い致します。

